

7

新しいまちにふさわしい 行財政運営の推進

行財政運営の効率化

各システムの導入・運用（企画課・総合窓口課）

○総合窓口・住民情報システムの運用・証明書等のコンビニ交付

1億8,592万円

◆総合窓口 市役所と各総合事務所（田老・新里・川井）、各出張所（崎山・津軽石・重茂・花輪・小国・門馬・川内）では、住民票・戸籍・印鑑証明などの証明書の発行や、住所異動・国民年金・国民健康保険などの諸手続きを1カ所の窓口で済ませることができる「ワンストップサービス（総合窓口）」を行っています。また、総合窓口課では、平日に電話で予約し、休日に証明書を交付するサービスを行っています。

◆住民情報システムの運用 迅速かつ効率的な事務処理を行い、住民サービスの維持と向上を図るために、宮古市住民情報システムの運用・管理を行います。

◆証明書などのコンビニ交付 平成28年度よりコンビニエンスストアで個人番号カードを利用した、住民票などの証明書の交付を行い、利便性を高めることにより行政サービスの向上を図っています。

行政の質的向上

職員研修の充実（総務課）

○職員研修

1,000万円

地方のことは地方で考えるという視点に立ち、市民の皆さんの声を生かした魅力あるまちづくりのために、組織が一体となって機能するよう職員一人ひとりの能力を伸ばす職員研修を行います。

その他の事務事業

○国勢調査（総務課）

3,299万円

国勢調査は、大正9年（1920年）の第1回調査以来、我が国に住んでいる全ての人と世帯を対象に、5年に一度実施する国の最も重要な統計調査で、令和2年（2020年）に100年の節目を迎えます。

これまでの調査結果は、国や地方公共団体の行政施策のほか、民間企業などでもさまざまな場面で利用されてきました。

「令和2年国勢調査」は、令和2年10月1日(木)を調査期日として、市内649調査区で実施します。

○国土調査（農林課）

2億2,644万円

土地一筆ごとに所有者・地番・地目・境界を調査し、測量を行い、地籍図および地籍簿を作成します。

◆継続調査（地籍測定・地籍図作成など）7.36平方キロメートル 藤の川、神林、磯鶏の一部、墓目の一部、江繋の一部、田老字撰待の一部

◆新規調査（一筆地調査など）8.43平方キロメートル 鍬ヶ崎の一部、愛宕、築地、藤原の一部、江繋の一部

令和2年度調査予定地区



○（仮称）宮古創生センター整備（企画課）

1,300万円

子どもや若者の健全育成と、市民活動の場となる施設を整備するため、旧宮古警察署を活用した（仮称）宮古創生センターを整備します。



（仮称）宮古創生センターとして整備予定の旧宮古警察署